

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

| | |
|------|-----------------|
| 学校名 | 専門学校 日産愛知自動車大学校 |
| 設置者名 | 学校法人 日産学園 |

1. 財務諸表等

| 財務諸表等 | 公表方法 |
|--------------|---|
| 貸借対照表 | ホームページにて公開 https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/2024/06/FY24_taisyakutaisyohyou.pdf |
| 収支計算書又は損益計算書 | ホームページにて公開 https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/2024/06/FY24_sikinnsyuusikeisannsyo.pdf |
| 財産目録 | ホームページにて公開 https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/2024/06/FY24_zaisanmokuroku.pdf |
| 事業報告書 | ホームページにて公開 https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/2024/06/FY24_23jigyousisseki.pdf |
| 監事による監査報告（書） | ホームページにて公開 https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/2024/06/FY24_kansahoukokusyo.pdf |

2. 教育活動に係る情報

① -1 学科等の情報（自動車整備科）

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|--------|----|-----------------------|---------------|-------|-----------------|------|----|
| 工業 | | 工業専門課程 | 自動車整備科 | ○ | - | | |
| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1,982.4 単位時間 | 715.2 単位時間 | | 1,267.2 単位時間 | | |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 200人 | | 148人 | 97人 | 12人 | 11人 | 23人 | |

| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
|--|
| (概要) 学年の基準修業週は45週とし1週間の授業時限は原則として20時限とする。1時限は80分とし、1教育単位時間50分とする 1年次：910時間 2年次：890時間 の専門教育を行う。 |

| |
|---|
| <p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要) 学習評価は教科ごとに下記試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められません。 可否の判定は下記「判定基準」により行います。</p> <p>〈判定基準〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。 2) 学科、実習共に成績得点が60点以上を合格とします。 ※国家2級資格取得のための特定の教科においては、80点以上を合格とします。 3) 成績得点を基に評定(優・良・可)、成績順位が決められます。 ※優:80点以上、良:60点以上、可:60点未満 ※評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められます。 |
| <p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要) 卒業認定方針に基づき、全専門科目の履修を確認した上で、授業態度、出欠状況等を鑑み、卒業を認定している。</p> |
| <p>学修支援等</p> <p>(概要) クラス担任制をとり、学生の相談を受け、アドバイス等の対応を行う状況により個人面談や保護者面談を行う</p> |

| | | | |
|---|------------|-------------------|--------------|
| 卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載) | | | |
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
| 53人 (100%) | 0人 (0%) | 51人 (96.2%) | 2人 (3.8%) |
| (主な就職、業界等) 日産販売会社、メーカー系販売会社、自動車関連サプライヤ | | | |
| (就職指導内容) オリジナルテキストを用いたキャリア形成教育、外部講師によるキャリア育成教育、就職先採用担当者による就職ガイダンスなど。 | | | |
| (主な学修成果(資格・検定等)) 2級ガソリン自動車整備士、2級ジーゼル自動車整備士 | | | |
| (備考) (任意記載事項) | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|--|----------------|------|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 107 人 | 4 人 | 4.7% |
| (中途退学の主な理由) 学力不振、経済的理由、進路変更 | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による定期的な個人面談、専門カウンセラーによるカウンセリングの実施、等 | | |

①-2 学科等の情報（自動車整備・カーボディマスター科）

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|------------------------|----|-----------------------|------------------|-------------|-----------------|-------------|----|
| 工業 | | 工業専門課程 | 自動車整備・カーボディマスター科 | ○ | — | | |
| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 3年 | 昼 | 2,980.8 単位時間 | 990.4 単位時間 | | 1,990.4 単位時間 | | |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 75人 | | 46人 | 1人 | 2人 (3年次) | 0人 (3年次) | 2人 (3年次) | |
| ※1・2年次の教員数は自動車整備科に準ずる。 | | | | | | | |

| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
|---|
| <p>（概要）</p> <p>学年の基準修業週は45週とし1週間の修業時限は原則として20時限とする。1時限は80分とし、1教育単位時間50分とする</p> <p>1年次：910時間 2年次：890時間 3年次：994時間 の専門教育を行う。</p> |
| <p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要）</p> <p>学習評価は教科ごとに下記試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められません。</p> <p>可否の判定は下記「判定基準」により行います。</p> <p>〈判定基準〉</p> <p>1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。</p> <p>2) 学科、実習共に成績得点が60点以上を合格とします。</p> <p>3) 成績得点を基に評定（優・良・可）、成績順位が決められます。</p> <p>※優：80点以上、良：60点以上、可：60点未満</p> <p>※評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められます。</p> |
| <p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要）</p> <p>卒業認定方針に基づき、全専門科目の履修を確認した上で、授業態度、出欠状況等を鑑み、卒業を認定している。</p> |
| <p>学修支援等</p> <p>（概要）</p> <p>クラス担任制をとり、学生の相談を受け、アドバイス等の対応を行う状況により個人面談や保護者面談を行う</p> |

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|---|------------|-------------------|------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 12人 (100%) | 0人 (0%) | 12人 (100%) | 0人 (0%) |
| (主な就職、業界等) 自動車販売会社 | | | |
| (就職指導内容) オリジナルテキストを用いたキャリア形成教育、外部講師によるキャリア育成教育、就職先採用担当者による就職ガイダンスなど。 | | | |
| (主な学修成果（資格・検定等）) 2級ガソリン自動車整備士、2級ジーゼル自動車整備士、車体自動車整備士 | | | |
| (備考)（任意記載事項） | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|--|----------------|------|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 38人 | 3人 | 7.9% |
| (中途退学の主な理由) 学力不振、経済的理由、進路変更 | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による定期的な個人面談、専門カウンセラーによるカウンセリングの実施、等 | | |

①-3 学科等の情報（自動車整備・マスターメカニック科）

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|--------|-------|-----------------------|------------------------|-------------|-----------------|----|----|
| 工業 | | 工業専門課程 | 自動車整備・マスターメカニック科 | ○ | — | | |
| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 3年 | 昼 | 2,976 単位時間 | 958.4 単位時間 | | 2,017.6 単位時間 | | |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 | 生徒実員数 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | | |
| 45人 | 25人 | 1人 | 1人 (3年次) | 1人 (3年次) | 2人 (3年次) | | |
| | | | ※1・2年次の教員数は自動車整備科に準ずる。 | | | | |

| |
|---|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
| <p>（概要）</p> <p>学年の基準修業週は45週とし1週間の修業時限は原則として20時限とする。1時限は80分とし、1教育単位時間50分とする</p> <p>1年次：910時間 2年次：890時間 3年次：810時間 の専門教育を行う。</p> |
| 成績評価の基準・方法 |
| <p>（概要）</p> <p>学習評価は教科ごとに下記試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められません。</p> <p>可否の判定は下記「判定基準」により行います。</p> <p>〈判定基準〉</p> <p>1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。</p> <p>2) 学科、実習共に成績得点が60点以上を合格とします。</p> <p>3) 成績得点を基に評定（優・良・可）、成績順位が決められます。</p> <p>※優：80点以上、良：60点以上、可：60点未満</p> <p>※評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められます。</p> |
| 卒業・進級の認定基準 |
| <p>（概要）</p> <p>卒業認定方針に基づき、全専門科目の履修を確認した上で、授業態度、出欠状況等を鑑み、卒業を認定している。</p> |
| 学修支援等 |
| <p>（概要）</p> <p>クラス担任制をとり、学生の相談を受け、アドバイス等の対応を行う状況により個人面談や保護者面談を行う</p> |

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|---|------------|-------------------|-----------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 5人 (100%) | 0人 (0%) | 5人 (100%) | 0人 (%) |
| (主な就職、業界等) 自動車販売会社 | | | |
| (就職指導内容) オリジナルテキストを用いたキャリア形成教育、外部講師によるキャリア育成教育、就職先採用担当者による就職ガイダンスなど。 | | | |
| (主な学修成果（資格・検定等）) 2級ガソリン自動車整備士、2級ジーゼル自動車整備士、国内B級ライセンス | | | |
| (備考)（任意記載事項） | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|--|----------------|------|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 20人 | 1人 | 5.0% |
| (中途退学の主な理由) 学力不振、進路変更 | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による定期的な個人面談、専門カウンセラーによるカウンセリングの実施、等 | | |

①-4 学科等の情報（自動車整備・トータルマスター科）

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|------------|----|---------------------------|---------------------|--|-----------------|------|----|
| 工業 | | 工業専門課程 | 自動車整備・トータル マスター科 | — | ○ | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 4年 | 昼 | 3,974.4 単位時間 | 1,233.6 単位時間 | | 2,740.8 単位時間 | | |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員 数 | | 生徒実 員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 20人 | | 14人 | 0人 | ※1・2年次は自動車整備科、 3年次は自動車整備・カーボディマスター 科、 4年次は自動車整備・マスターメカニック科 の教員数に準ずる。 | | | |

| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
|---|
| <p>（概要） 学年の基準修業週は45週とし1週間の修業時限は原則として20時限とする。1時限は80分とし、1教育単位時間50分とする 1年次：910時間 2年次：890時間 3年次：994時間 4年次：810時間 の専門教育を行う。</p> |
| <p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要） 学習評価は教科ごとに下記試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められません。 可否の判定は下記「判定基準」により行います。</p> <p>〈判定基準〉 1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。 2) 学科、実習共に成績得点が60点以上を合格とします。 3) 成績得点を基に評定（優・良・可）、成績順位が決められます。 ※優：80点以上、良：60点以上、可：60点未満 ※評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められます。</p> |
| <p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要） 卒業認定方針に基づき、全専門科目の履修を確認した上で、授業態度、出欠状況等を鑑み、卒業を認定している。</p> |
| <p>学修支援等</p> <p>（概要） クラス担任制をとり、学生の相談を受け、アドバイス等の対応を行う 状況により個人面談や保護者面談を行う</p> |

| | | | |
|---|-------------|-------------------|-------------|
| | | | |
| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 2人 (100%) | 0人 (0%) | 2人 (100%) | 0人 (0%) |
| (主な就職、業界等) 自動車販売会社 | | | |
| (就職指導内容) オリジナルテキストを用いたキャリア形成教育、外部講師によるキャリア育成教育、就職先採用担当者による就職ガイダンスなど。 | | | |
| (主な学修成果（資格・検定等）) 2級ガソリン自動車整備士、2級ジーゼル自動車整備士、車体自動車整備士、国内B級ライセンス | | | |
| (備考)（任意記載事項） | | | |

| | | |
|--|----------------|-----|
| 中途退学の現状 | | |
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 11人 | 0人 | 0% |
| (中途退学の主な理由) | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による定期的な個人面談、専門カウンセラーによるカウンセリングの実施、等 | | |

① -5 学科等の情報（一級自動車工学科）

| | | | | | | | |
|----------|----|---------------------------|-----------------|-------|-----------------|------|----|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 工業 | | 工業専門課程 | 1級自動車工学科 | - | ○ | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 4年 | 昼 | 4,092.8 単位時間 | 1,353.6 単位時間 | | 2,739.2 単位時間 | | |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 140人 | | 77人 | 1人 | 2人 | 14人 | 16人 | |

| |
|---|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
| <p>（概要） 学年の基準修業週は45週とし1週間の修業時限は原則として20時限とする。1時限は80分とし、1教育単位時間50分とする 1年次：870時間 2年次：930時間 3・4年次：1800時間 の専門教育を行う。</p> |
| 成績評価の基準・方法 |
| <p>（概要） 学習評価は教科ごとに下記試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められません。 可否の判定は下記「判定基準」により行います。 〈判定基準〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。 2) 学科、実習共に成績得点が70点以上を合格とします。 ※国家2級資格取得のための特定の教科においては、80点以上を合格とします。 3) 成績得点を基に評定（優・良・可）、成績順位が決められます。 ※優：80点以上、良：70点以上、可：70点未満 ※評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められます。 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| <p>（概要） 卒業認定方針に基づき、全専門科目の履修を確認した上で、授業態度、出欠状況等を鑑み、卒業を認定している。</p> |
| 学修支援等 |
| <p>（概要） クラス担任制をとり、学生の相談を受け、アドバイス等の対応を行う 状況により個人面談や保護者面談を行う</p> |

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|--|-------------|-------------------|-------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 17人 (100%) | 0人 (0%) | 17人 (100%) | 0人 (0%) |
| (主な就職、業界等) 日産販売会社、メーカー系販売会社、自動車関連サプライヤ | | | |
| (就職指導内容) 外部講師による就職授業 | | | |
| (主な学修成果（資格・検定等）) 2級ガソリン自動車整備士、2級ジーゼル自動車整備士、1級小型自動車整備士 | | | |
| (備考)（任意記載事項） | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|--|----------------|------|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 82人 | 3人 | 3.7% |
| (中途退学の主な理由) 学力不振、経済的理由、進路変更 | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による定期的な個人面談、専門カウンセラーによるカウンセリングの実施、等 | | |

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等 (2024年4月)

| 学科名 | 学年 | 入学金 | 授業料 (年間) | その他 | 備考 (任意記載事項) |
|--|-----|----------|-------------|----------|---------------|
| 自動車整備科 | 1年次 | 240,000円 | 642,000円 | 360,000円 | 施設設備整備費、実験実習費 |
| | 2年次 | - | 642,000円 | 360,000円 | 施設設備整備費、実験実習費 |
| 自動車整備・ カーボディマスター科 | 1年次 | 240,000円 | 642,000円 | 360,000円 | 施設設備整備費、実験実習費 |
| | 2年次 | - | 642,000円 | 360,000円 | 施設設備整備費、実験実習費 |
| | 3年次 | - | 642,000円 | 400,000円 | 施設設備整備費、実験実習費 |
| 自動車整備・ マスターメカニック科 | 1年次 | 240,000円 | 642,000円 | 360,000円 | 施設設備整備費、実験実習費 |
| | 2年次 | - | 642,000円 | 360,000円 | 施設設備整備費、実験実習費 |
| | 3年次 | - | 642,000円 | 450,000円 | 施設設備整備費、実験実習費 |
| 自動車整備・ トータルマスター科 | 1年次 | 240,000円 | 642,000円 | 360,000円 | 施設設備整備費、実験実習費 |
| | 2年次 | - | 642,000円 | 360,000円 | 施設設備整備費、実験実習費 |
| | 3年次 | - | 642,000円 | 400,000円 | 施設設備整備費、実験実習費 |
| | 4年次 | - | 642,000円 | 450,000円 | 施設設備整備費、実験実習費 |
| 一級自動車 工学科 | 1年次 | 240,000円 | 642,000円 | 360,000円 | 施設設備整備費、実験実習費 |
| | 2年次 | - | 642,000円 | 360,000円 | 施設設備整備費、実験実習費 |
| | 3年次 | - | 642,000円 | 450,000円 | 施設設備整備費、実験実習費 |
| | 4年次 | - | 642,000円 | 450,000円 | 施設設備整備費、実験実習費 |
| 修学支援 (任意記載事項) | | | | | |
| 特待生奨学金制度 25万円 若干名、遠隔地奨学金 25万円 若干名、ファミリー支援制度 24万円 全員、 企業推薦奨学金 25万円 全員、留学生特別奨学金制度 25万円 日本語能力検定 N2 取得者 | | | | | |

b) 学校評価

| | | |
|--|------------------------|-------|
| 自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/2024/06/FY24_23jikotenkenhyouka.pdf | | |
| 学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校の実施する自己点検評価に対し、学校関係者による「学校関係者評価委員会」を設けて外部評価を実施し、学校運営の継続的改善を図る。 ・主な評価項目：教育活動、学修成果、就職等の学生支援、学生募集、財務、等 ・評価委員会の構成：委員定数は最低3名。少なくとも①自治体代表、②企業代表、③団体代表、④卒業生代表の各分野から1名を選任。 ・評価結果の活用：6月迄に前年度を対象に評価を受け、当年度の活動で、その改善方策を実施する。総責任者は校長。 | | |
| 学校関係者評価の委員 | | |
| 所属 | 任期 | 種別 |
| 名古屋市港区役所 区政部 部長 | 令和6年4月1日～ 令和8年3月31日 | 自治体代表 |
| 東海日産自動車株式会社 取締役執行責任者 | 令和5年4月1日～ 令和7年3月31日 | 企業代表 |
| 愛知県自動車整備振興会 部長 | 令和5年4月1日～ 令和7年3月31日 | 団体代表 |
| 愛知日産自動車株式会社 | 令和6年4月1日～ 令和8年3月31日 | 卒業生代表 |

| |
|---|
| 学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校関係者評価委員会開催後にアップロード |
| 第三者による学校評価 (任意記載事項) |
| |

c) 当該学校に係る情報

| |
|--|
| (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.nissan-gakuen.ac.jp/school/aichi/ |
|--|

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

| | |
|-------|-----------------|
| 学校コード | H123310000696 |
| 学校名 | 専門学校 日産愛知自動車大学校 |
| 設置者名 | 学校法人 日産学園 |

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

| | | 前半期 | 後半期 | 年間 |
|--------------------|------|-----|-----|-----|
| 支援対象者（家計急変による者を除く） | | 25人 | 23人 | 30人 |
| 内 訳 | 第Ⅰ区分 | 16人 | 17人 | |
| | 第Ⅱ区分 | - | - | |
| | 第Ⅲ区分 | - | - | |
| 家計急変による支援対象者（年間） | | | | 0人 |
| 合計（年間） | | | | 30人 |
| (備考) | | | | |

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

| | |
|----|----|
| 年間 | 0人 |
|----|----|

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

| | 右以外の大学等 | 短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。） | |
|---|---------|---|-----|
| | 年間 | 前半期 | 後半期 |
| 修業年限で卒業又は修了できないことが確定 | | 0人 | - |
| 修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下) | | 0人 | 0人 |
| 出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況 | | 0人 | 0人 |
| 「警告」の区分に連続して該当 | | 0人 | 0人 |
| 計 | | 0人 | - |
| (備考) | | | |

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

| 右以外の大学等 | | 短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。） | |
|---------|-----|---|----|
| 年間 | 前半期 | 後半期 | |
| | | 0人 | 0人 |

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

| | |
|---------|----|
| 退学 | 0人 |
| 3月以上の停学 | 0人 |
| 年間計 | 0人 |
| (備考) | |

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

| | |
|---------|----|
| 3月未満の停学 | 0人 |
| 訓告 | 0人 |
| 年間計 | 0人 |
| (備考) | |

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

| | 右以外の大学等 | 短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。） | |
|---|---------|--|-----|
| | 年間 | 前半期 | 後半期 |
| 修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下) | | 0人 | 0人 |
| G P A等が下位4分の1 | | 0人 | 0人 |
| 出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況 | | 0人 | 0人 |
| 計 | | 0人 | 0人 |
| (備考) | | | |

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。